

子宮頸癌(腺癌)の放射線治療を受けた皆様へ(臨床研究に関する情報)

子宮頸癌(腺癌)の亜分類診断基準が2014年に新しくなりました。しかし最新の分類に基づいた放射線(X線)治療成績の詳細は不明です。また、免疫組織染色という方法を用いることで、放射線治療成績の詳細が明らかになる可能性があります。そこで群馬大学が主体となって、QST病院を含む3施設で、過去の症例を解析することになりました。

この研究は、電子カルテや生検検体より得られた過去の記録をまとめることによって行います。このような研究では、文部科学省・厚生労働省の「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」により、対象となる患者さんのお一人ずつに直接説明を行い同意を得る代わりに、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先：窓口」へご照会ください。

もし、詳しいことをご存知になりたい場合には、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲で、より詳しい計画書や関連資料を閲覧いただくことができます。また、個人情報保護法に基づく開示・利用停止等の手続き等を希望される場合にはお申し出ください。

[研究課題名] 子宮頸部腺癌の免疫組織学的評価とその放射線治療予後に関する後向き観察研究
(実施期間：承認日～西暦2026年3月31日)

[研究機関] 量子科学技術研究開発機構

[協力研究機関] 群馬大学医学部附属病院、群馬県立がんセンター
(これら外部機関に個人を識別できる情報が提供されることはありません。)

[研究責任者] 宮坂 勇平

[研究の目的] 子宮頸部腺癌の亜分類診断・免疫組織学的評価と放射線治療予後を明らかにする。

[研究の方法]

- 対象となる方々 2000年1月から2016年12月の間に放射線(X線)治療をうけた方。
- 利用する情報・利用方法
(亜分類)診断名、年齢、性別、治療概要、治療後の経過、免疫組織染色の結果

新たな質問や検査はありません。

データは情報取扱いの安全管理された電子システムにより集計します。

[個人情報の取り扱い]

外部と共有される研究データからは、お名前、ご住所、その他の個人を識別できる情報は削除します。また、研究成果は、解析した全体の数字として学会や学術雑誌で発表されますが、その際に個人名などが表に出ることは絶対にありません。(国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構個人情報保護規程に従い取り扱います)

この研究にご自分のデータを使ってほしくない方(または代理人の方)は、2017年7月31日までに申し出いただけるようお願い致します。

この調査へのご自分のデータの使用をお断りになっても、不利益を受けることは全くありません。

[問い合わせ先：窓口]

千葉県千葉市稲毛区穴川4-9-1

国立研究開発法人 量子科学技術研究開発機構 量子生命・医学部門 QST病院
病院 担当者 宮坂 電話：043-206-4709 (平日9:00～17:00)